

# 歴史古街道団 歴史講演会のお知らせ

2018年7月28日(土) 14:00~15:30

○会場：多摩市・関戸公民館(VITA) 8階 大会議室

(京王線・聖蹟桜ヶ丘西口徒歩3分 多摩市関戸 4-72 ヴィータ・コミュニエ8階)

○参加費：団員 500 円/名 一般 700 円/名

○申込み：事前申込み不要 当日会場にて受付

○定員：90名(先着順)

## テーマ：古代相模国高座郡をめぐる 地域支配と交通

講師：田尾 誠敏 さん

講師プロフィール 所属／東海大学文学部・大正大学文学部・関東学院文学部等 非常勤講師  
専門／日本歴史考古学(古代)、東南ヨーロッパ考古学、博物館学

東西日本を結ぶ大きな交通路が通過したであろう相模国の「高座(こうざ)郡」。この高座郡には、南部と最北部の二地域に交通上の要衝があり、その郡庁も時期は不明ながら二つあった可能性について、これまで古街道団では探索会や講演会を実施し検討してきました。このたび、東南ヨーロッパやアジアの古代史、相模国の古代交通路や官衙遺跡の研究の第一人者として著名な田尾誠敏先生に、ご講演頂く機会を計画致しました。

ご出身校の東海大学湘南キャンパスの調査も含め、長年にわたり携わってこられた相模国の壮大な古代史と研究のご成果の一端をテーマにお話し頂きます。奮ってご参加ください。

### 最近の主な著書・論文等／

『大地に刻まれた藤沢の歴史Ⅳ—古墳時代—』藤沢市(監修・共著)(2014)

「ヨーロッパ最古の王墓」『アジアの考古学2 アジアの王墓』高志書院(2014)

「関東への灰釉陶器の流入状況と在地土器」『灰釉陶器生産における地方窯の成立と展開』東海土器研究会(2015)

『大地に刻まれた藤沢の歴史Ⅴ—奈良・平安時代—』藤沢市(監修・共著)(2015)

「観光資源としての史跡と博物館」『博物館研究』Vol. 50 No. 9、博物館研究会(2015)

「相模国における運河と水上交通」『日本古代の運河と水上交通』八木書店(2015)

『ゲタイ族と黄金遺宝』ディアナ・ゲルゴヴァ著、愛育社(共訳)(2016)

『古代神奈川の道と交通』藤沢市文書館(共著)(2017)

「神奈川県下寺尾官衙遺跡群と相模国高座郡南部の景観」『日本古代の道路と景観』八木書店(2017)

「相模国における官衙・初期寺院の景観とその形成」山川出版社(2017)

\* 消防法により人数超過の入場が出来ませんので、ご了承ください。



歴史古街道団 本部：東京都多摩市  
宮田太郎(歴史古街道団長) TEL 090-7002-3431  
<http://rekkodan.a.la9.jp/>

2018-NO. 22